

第1学年2組 算数科学習指導案

場所 1年2組教室 指導者

- 1 単元 いろいろなかたち (本時2/3)
- 2 本時の目標
身のまわりのものを、色や大きさ、材質に関係なく、形としてとらえることができる。
(思考・判断・表現)

- 3 展開 ◎目指す姿 ㊦見通し ㊧チーム学習 ㊨山場 ㊩まとめ ㊪振り返り

段階	子供の活動	教師の活動
導入 (3)	1 前時の学習を振り返る。 ・前時で使った箱や缶を確認する。 2 前時で作った動物や乗り物を見る。 3 本時の学習課題を把握する。	・使った立体を提示し、様々な形があったことを振り返らせる。 ・前回作った作品の工夫したところを尋ねる。
課題 (2)	〓かたちをなかまわけしよう。	
展開 (30)	4 目指す姿と見通しをもつ。 ◎以ているところを見つけ、仲間分けができたなら。 ㊦①一人②チーム③振り返り	・学習の流れと目指す姿を確認する。 ・仲間分けをしてその根拠を言えたら、花丸合格であることを話す。 ・同じ形の仲間を見つけるには、どのような観点で仲間分けしたらいいか見通しをもたせる。 ・実物をよく観察したり、手で触ったりしている子を称賛する。 ・提示した立体と同じ仲間であると予想した記号をメモ用紙に書かせて立体に貼れるようにする。 ・机間指導の時、「どうしてその仲間だと思ったの?」と問い、わけを言えるように促す。 ・その記号にしたわけも書けるようにする。 ㊨「い」を選んだ時、「い」と「う」はどちらも転がるのに「う」ではなぜ違うのか問う。 ㊧まずチームの状態を把握する。 ㊩見た目でなかま分けをしてしまっているチームには、めあての確認をして、積んだり転がしたりしてみようと助言する。 ㊦どうしてそのなかま分けにしたのか根拠を問う。 ㊧チームに伝え合う姿を見かけたら、称賛して学級全体に広げていく。 ㊩本時のまとめを、黒板のめあてを見て「かたち」に着目して仲間分けができたか確認する。 ・同じ仲間だと考えた理由が言えるチームを紹介する。 ㊤今日の学習で分かったことや友達のいいなと思ったところをプリントに書くように指示する。 ㊤自分の成長に気づけたことを称賛する。 ・振り返りが書けている子を意図的に指名して発表させる。
	5 自分が持ってきた立体が提示されたどの立体と同じ仲間か予想する。 	
	・アルミ缶は、転がるところが「い」や「う」と似ているよ。 ・この箱は、積み上げることができるから「あ」や「い」と同じ仲間かもしれないな。	
	6 チームで、5に記入した仲間について共有する。 ・どうしてその仲間にしたのかな? ・よく転がるから「う」にしました。 ・四角いところがあるから「あ」にしました。	
整理 (10)	7 本時の振り返りをする。 ・振り返りをする。 ㊪箱を触ったり、よく見ると似ているところがあったよ。 ㊫箱は仲間分けができることが分かりました。 違う箱や缶でもなかま分けをしてみたい。	

- 4 評価
形の特徴に着目して仲間分けをした根拠を、表現することができる。
(活動6のチーム学習の発言から)